

まごころをかたちに

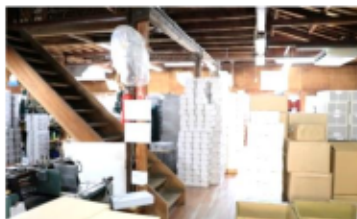
スエカネ紙工



ケーキやチョコレートのお菓子の箱や、贈答用の化粧箱などを手掛ける
 (有)スエカネ紙工。今年創業70周年を迎えます。取材・編集/大下

【地域に根付いて70年！】

昭和28年4月1日創業、今年70周年！創業者の末兼裕スエカネさんは戦後、徳山（現周南市）で菓子屋をまわって箱の注文を取り、当時柳井にあった会社に箱の制作を依頼していました。貨物列車で柳井から届いた箱を降ろし、三輪車でお客さんのところに届けていたそうです。そのうち地元大手企業から受注があったり、自分で箱を分解研究し、末兼紙箱店を開業されたとのこと。その後機械を少しずつ導入し、3年前に(株)ブンシジャパンの子会社になりました。



↑作業所には、すごい量の紙が山積みされています。

【1つからでも！】

ケーキなどの菓子箱や贈答品の化粧箱など、デザインから設計、組み立て、紙の裁断に貼付け、印刷まで一貫して行います。大量生産だけでなく、少しお値段がかかりますが、1つからでも大丈夫。以前、陶芸家の方が1点ものの作品を入れる化粧箱を注文されたこともあったとか。

紙の種類や色も数えきれないほどあります。手書きのイラストを包装紙にすることだってできるそうです。とにかくお客様重視で希望に叶うよう形にしていきます。用途、数量、納期やデザインなど、ご要望をお伺いしますので、まずはお気軽にご相談ください。

社員さんの作られた門松ももちろん全部“紙”です！



■ DATA

【住所】周南市松保町10-4
 【営業】8時45分～17時
 【定休日】土(不定)日・祝日
 【駐車場】有
 【TEL】0834-21-2017
 【FAX】0834-32-4879



↑HP

【ヤギさんの箱！】

「想いを受け止める箱屋」という企業理念を元に、昨年“ヤギさんの箱”というオリジナルブランドを立ち上げました。コンセプトは「自由なおはこ(十八番)暮らし」。キャラクターの白ヤギは豊かな情報を提供するという意味から「ゆたかちゃん」、黒ヤギは経営理念の“和は力なり”より「なごみちゃん」という名前です。“ヤギさんの箱”は、良質な素材を使用し、一つずつ丁寧に制作していますので、大切に使用すれば百年もつ丈夫な箱です。



ヤギさんが目印

【最新マシンも導入！】

県内でも珍しいスイス製のカッティングマシンを導入し、さらに今年にはUV印刷の機械も導入予定とのこと。シールや布に印刷したり、ポスター制作といったことも可能になります。



パソコンと連動して複雑なものにも対応できるカッティングマシン！

また、凸版も作ります。凸版とは印鑑のようなもの。事業所名など一度作っておくと箱や紙袋などに印刷、箔押し(金箔等)などに利用できます。凸版を自社で作るので、よりスピーディに経費も削減できます。

最近ではレジ袋の代わりに有料の紙袋を用意する店舗が増えてきました。ビニールよりデザイン性も高く、持って歩きたくなるオシャレなものなら宣伝効果も期待できるとか♪



↑自動箔押し機



→金箔自動彫刻機

今なら、箱の制作ご注文の方限定で凸版割引します！この機会にご利用ください！